JOHNAN NEWS
2024 3
JOHNAN SHINKIN BANK NEWS 2024.3

「城南社会貢献賞」を表彰

左：結城恵美代表取締役

2024年3月4日（月）、「城南社会貢献賞」として、新横浜支店のお取引先である「有限会社結城商事輸送」様を表彰いたしました。

1962年に創業し、運送・倉庫業を営む同社は、東日本大震災や平成28年熊本地震などの震災が発生した際には、支援物資を被災地へ輸送する重要な役割を担い、令和6年能登半島地震に際しては、当金庫からの支援物資を、被災地の信用金庫へお届けいただきました。また、本業を通した社会貢献だけでなく、「本社車庫での農産物の直売」「小学校でのトラックを使った交通安全実習」などの活動にも積極的に取組まれています。

「人と人の未来を繋げる架け橋になりたい」をモットーに、物流の力で様々な課題解決に取組む同社に、この度、城南社会貢献賞を表彰させていただきました。

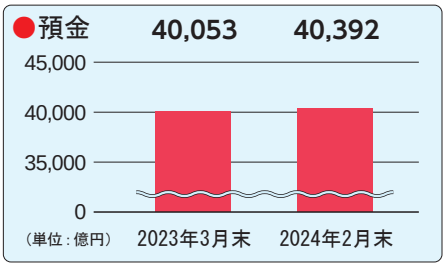
右：土屋品子復興大臣

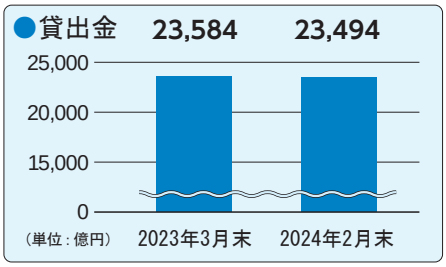
当金庫は、2024年3月11日（月）、シンポジウム「震災13年 未来へつなぎ、備える～若い力、今こそ」を東京新聞と共催しました。当日は、全国の被災地でこどもの居場所づくりに取組む「NPOカタリバ」の今村久美代表理事による基調講演やパネルディスカッション、福島県双葉町に工場を新設した繊維会社「浅野撚糸株式会社」の浅野雅己社長による取組みの発表、日本フィルハーモニー交響楽団の団員による演奏などが行われました。

また、営業部本店では、震災の記憶を風化させることなく次世代に伝えるため、報道写真パネル展「東日本大震災から13年/令和6年能登半島地震」を、2024年4月1日（月）まで開催しています。（平日9時から15時）

これからも、震災の記憶を風化させることなく被災地に想いを寄せ、私たち一人ひとりができることを考え被災地の方々と共に歩んでまいります。

当金庫の預金と貸出金について





●取引先数

預金取引軒数	586,733
融資取引先数※	51,000

（2024年2月末現在）

※総合口座先、預金担保のみの先を除く。

JOHNAN NEWS
2024 3
JOHNAN SHINKIN BANK NEWS 2024.3

プロバスケットボールチーム
「アースフレンズ東京Z」による「城南CUP」の開催

当金庫は、城南エリア（大田区・目黒区・品川区・世田谷区等）を主な活動拠点としているプロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」に協賛しています。

2024年2月25日（日）、大田区総合体育館において、「城南CUP」が開催されました。「G-FIVEミルスターズ」、「伊藤ヴィガーズ」、「給田シューティングスターズ」、「久が原ウイングス」の4チームが参加したトーナメント戦と「アースフレンズ東京Z」のホームゲームの観戦が行われました。

また、2月24日（土）には地域の小学生を対象とした「バスケットボール教室」の開催とホームゲームの観戦も行われました。

「アースフレンズ東京Z」は、社会貢献活動として地域のイベントへの参加や学校訪問にも力を入れており、地域の活性化とバスケットボールの普及に取組んでいます。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

大田区役所へ「軟骨伝導イヤホン」を寄贈

当金庫は、2024年3月1日（金）、大田区役所にて「軟骨伝導イヤホン」贈呈式を執り行い、耳の聞こえにくい方をサポートする軟骨伝導イヤホンを大田区役所へ寄贈しました。

大田区役所では、耳の聞こえにくい区民の方々が来庁された際、窓口でお困りにならず、スムーズにコミュニケーションを取る方法を検討されており、今回当金庫より軟骨伝導イヤホン2台を寄贈しました。

この軟骨伝導イヤホンは、当金庫でも全店に導入しており、利用されたお客様からは「声がとてもクリアに聞こえた」「何度も聞き直さなくてよくなった」といった評価の声が寄せられています。また、装着部分に凹凸が無いため、一般的なイヤホンに比べ衛生的で、骨伝導と比べ音漏れも少なく、相談内容が周囲に聞かれてしまうといった心配を軽減する効果が期待されています。

左から　奈良県立医科大学　細井学長
城南信用金庫　川本理事長
大田区　鈴木区長
大田区　玉川副区長